

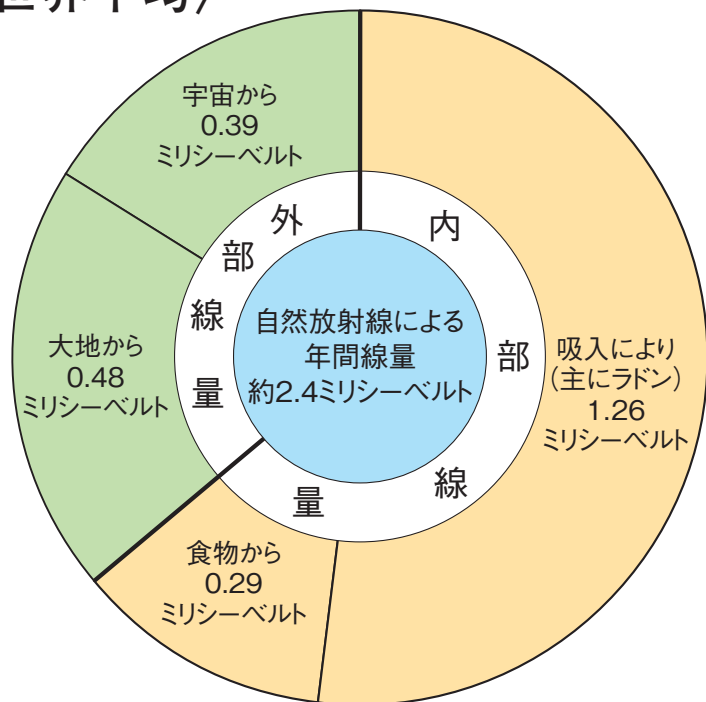
《アーネスト・ラザフォード》



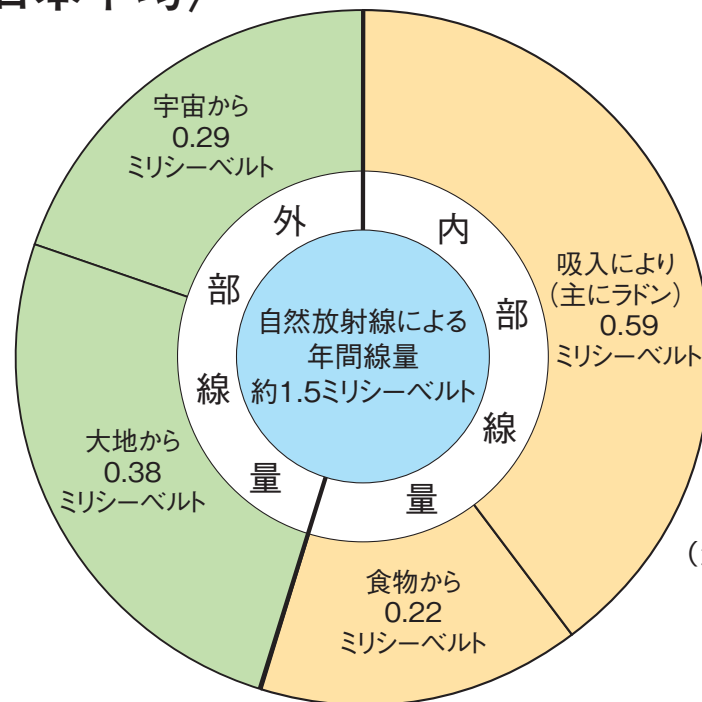
(掲載ページ：生徒用P. 12)

《自然界から受ける放射線量（一人当たりの年間線量）》

〈世界平均〉



〈日本平均〉



(注) 2005年に日本分析センターから、自然界から受ける年間の放射線量2.2ミリシーベルトという数値が公表されています。

出典：原子放射線の影響に関する国連科学委員会 (UNSCEAR) 2008年報告、(財)原子力安全研究協会「生活環境放射線」(1992年)より作成

《外部被ばくと内部被ばく》



外部被ばく
体の外にある放射性物質から出る放射線を受けます。



内部被ばく
放射性物質が含まれる空気や飲食物を吸ったり摂取したりすることによって、放射性物質が体の中に入り、体の中から放射線を受けます。

《体内、食物中の自然放射性物質》

●体内の放射性物質の量

カリウム40	4000ベクレル
炭素14	2500ベクレル
ルビジウム87	500ベクレル
鉛210・ポロニウム210	20ベクレル

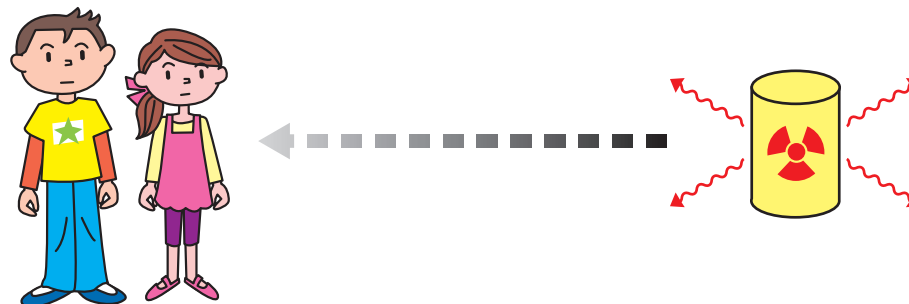
(体重60kgの日本人の場合)

●食物(1kg)中のカリウム40の放射性物質の量(日本)(単位:ベクレル/kg)

 干し昆布 2000	 干しいたけ 700	 ポテトチップ 400	
 生わかめ 200	 ほうれん草 200	 魚 100	 牛肉 100
 牛乳 50	 食パン 30	 米 30	 ビール 10

出典：(財)原子力安全研究協会
「生活環境放射線データに関する研究」
(1983年)より作成

《放射線から身を守る方法》



放射性物質から距離をとる

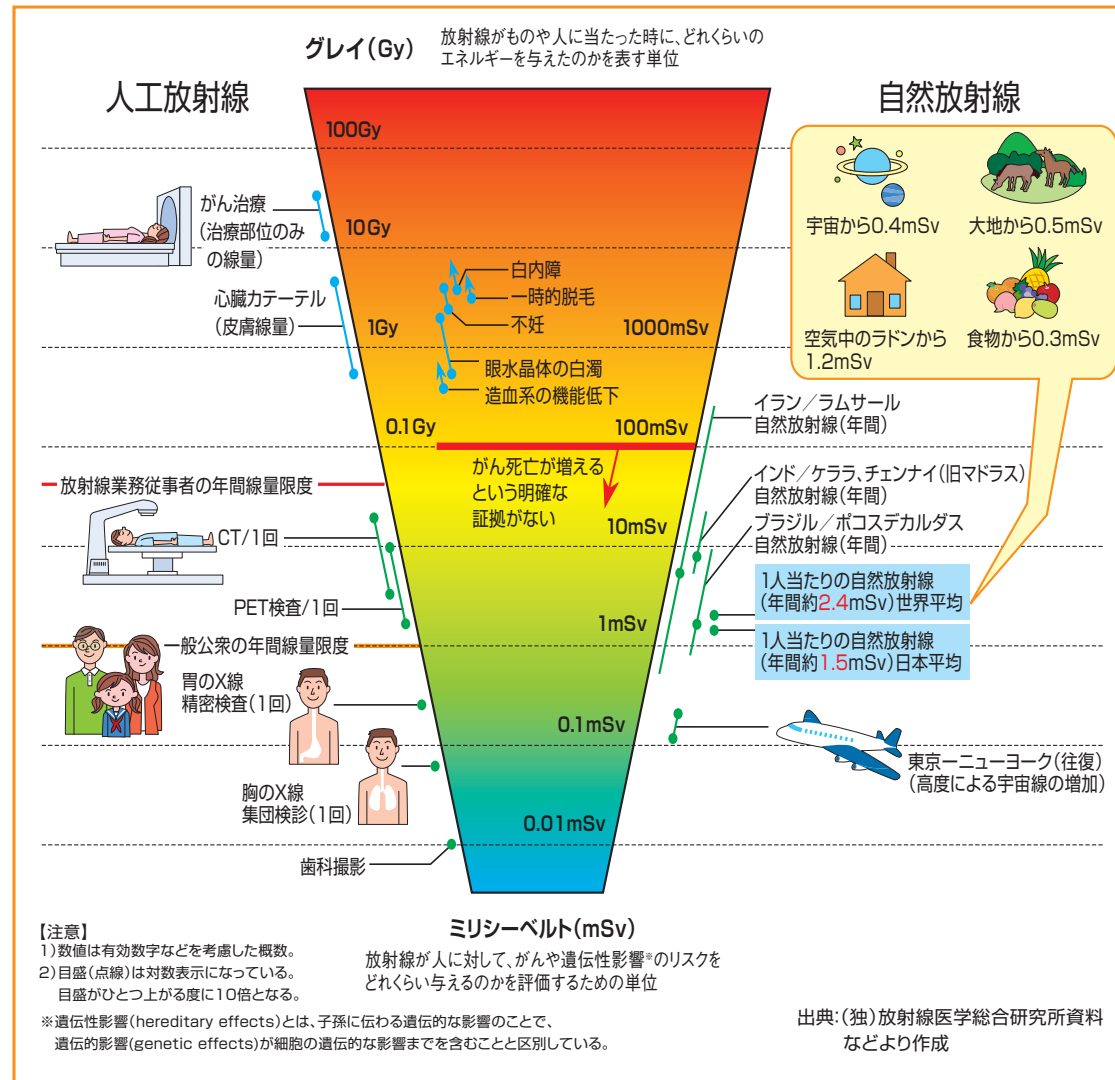


放射線を受ける時間を短くする

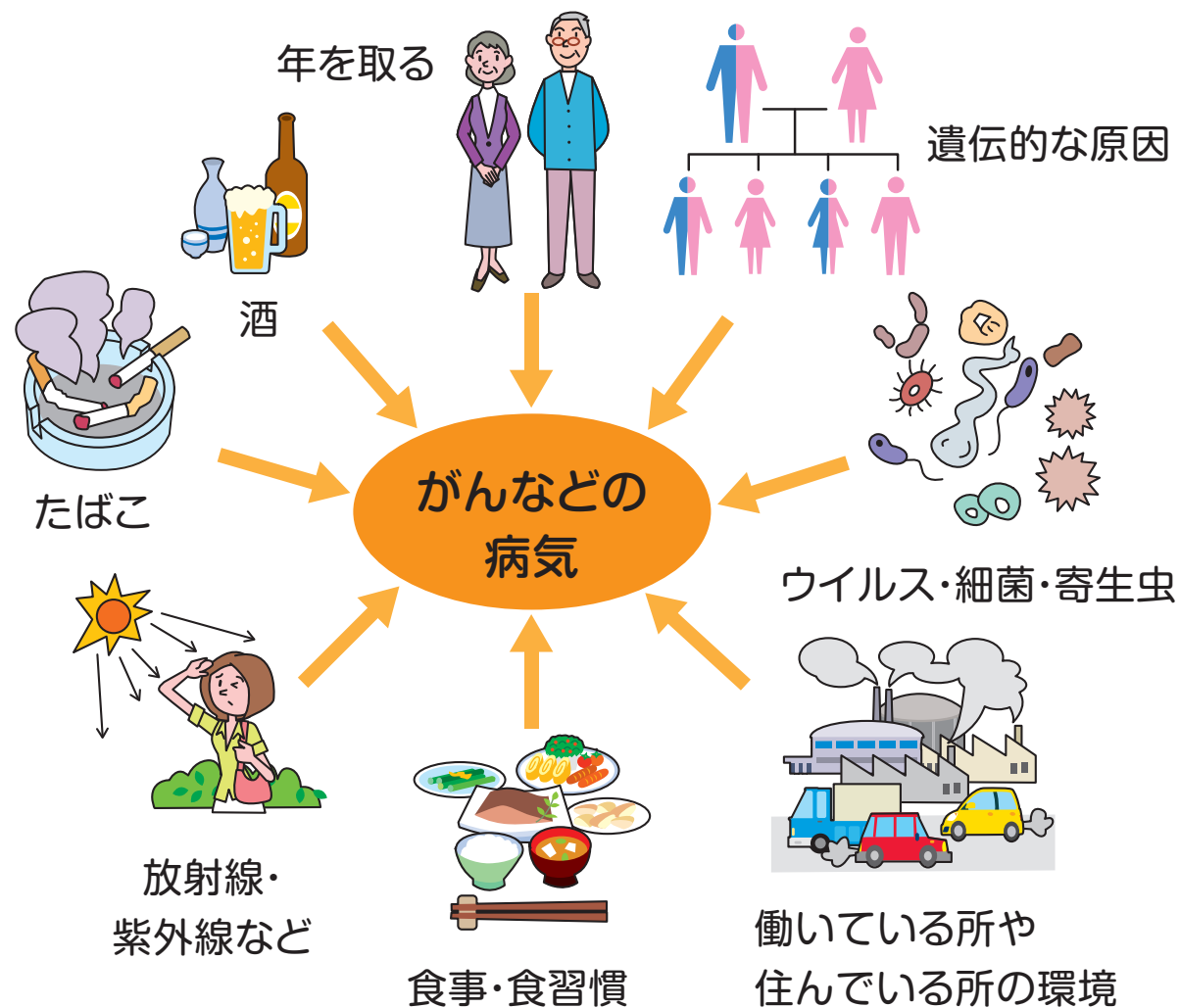


コンクリートなどの建物の中に入る
(木造よりコンクリートの方が放射線を通しません)

《身の回りの放射線被ばく》



《がんなどの病気を起こす色々な原因》



出典：(社)日本アイソトープ協会
「改訂版 放射線のABC」(2011年)などより作成

《医療品》



(掲載ページ：生徒用P.17)
写真提供・協力：(財)日本原子力文化振興財団